



温泉施設の給湯加温における 排湯回収型水熱源ヒートポンプ導入による省エネ

この温泉施設は、日本有数の温泉地にあり、1日約15tものお湯を使用する大型の公衆温泉施設です。従来は、シャワー等の給湯加温に源泉の熱交換と灯油ボイラーを使用しておりましたが、源泉の温度にばらつきがあり効果的に使用できないことや、灯油価格の高騰によるエネルギーコストの増加が課題となっていました。

そこで今回、排湯熱源を利用した水熱源ヒートポンプを採用することで、高効率な給湯加温が可能となり、大幅なエネルギーコストの削減を実現することができました。

■ 改善効果

- ・年間一次エネルギー使用量：14%低減
- ・年間エネルギー費用：9%低減
- ・年間CO₂排出量：19%低減※

■ 設備概要

- 水熱源ヒートポンプ：
80.6kW（加熱能力）×1台（新設）

※ 電力のCO₂排出係数：0.554kg-CO₂/kWh
灯油のCO₂排出係数：2.49kg-CO₂/ℓ

